

名前：

確かに、世界中でインターネットが自由に使えるようになり、誰でもそこで最新のニュースを見ることができるようなら、新聞や雑誌はいらなくなるように思うかもしれません。

しかしながら、今、本当に誰でも自由にインターネットが利用できていると言えるのでしょうか。

今や、一家に一台パソコンがある時代となりました。しかしこれは、全ての家にパソコンがあるという意味でもなければ、まして全ての人がパソコンを自由に扱えるという意味でもありません。また、パソコンは建物や家の中など、設備の整った場所になければ使えません。町中で、どこでもすぐ近くには公共の建物があり、そこにインターネットに接続できるような環境の人には問題ないかも知れませんが、そうでない人にはインターネットを利用できる時間を限定され、また、ノートパソコンを全ての人が持っている訳でもないし、外で持ち運ぶには少し重くてデリケートすぎ

ます。

ですので、都会に住む若い人ならいざ知らず、そうでない人にとっては、新聞や雑誌の市がインターネットより深い場合も多いのではないでしょうか。そのような人がいる限り、また新聞や雑誌は必要です。また、さっきも言った、パソコンと紙という媒体の性質を見逃していません。

ただ、これからますます技術が進み、以上のような問題を解決して行けば、インターネットの需要が増え、新聞や雑誌の需要は減っていくでしょう。それでも、インターネット（あるいはその端末）と、新聞や雑誌に違いがある以上、インターネットの利用を必要としない人にと、直接新聞や雑誌を利用した方が手軽であることは変わらないでしょう。